2026年11月24日
株式会社ガスパル

「Than九号2号機」が「熱気球から地域を眺めよう事業」に今年も協賛
～Than九号が宮崎市の子どもたちへ空から地域を眺める体験を提供～

LPガスを中核に保安最優先でエネルギー事業を展開する株式会社ガスパル（本社：東京都品川区、代表取締役社長：黒澤秀起）は、宮崎大学気球部が飛行・運航する熱気球「Than九号2号機」について、2026年11月14日（土）赤江地域まちづくり推進委員会が主催する「熱気球から地域を眺めよう事業」に参加し、宮崎市立宮崎南小学校での係留飛行を実施しましたのでお知らせします。
本事業は、子どもたちに熱気球から自分たちの暮らす地域を眺めてもらい、地域への関心や愛着を深めてもらうことを目的に、実施されており、ガスパルでは2023年度より協賛しています。今回は、2026年5月に新たに誕生した「Than九号2号機」が参加し、初代Than九号から受け継いだ思いを乗せ、子どもたちに空から地域を見渡す特別な体験を届けました。
今後もガスパルグループは、地域の皆さまとのつながりを大切にしながら、エネルギーを通じた体験や学び、明るい話題を提供していきます。

■初号機から2号機へ、熱気球プロジェクトの思いを継承

当日は、宮崎南小学校の児童・ご家族など計52組にご参加いただきました。「Than九号2号機」による係留飛行を体験いただき、普段生活している地域をいつもとは異なる視点から眺めていただきました。
地上から少しずつ上昇する熱気球に、会場からは歓声が上がり、子どもたちは眼下に広がる学校やまちの景色を楽しみました。また、会場では防災クイズも行い、防災やガスについて楽しみながら学ぶ機会となりました。



係留飛行の様子



防災クイズの様子

■イベント概要

開催日：2026年11月14日（土）
会場：宮崎市立宮崎南小学校
主催：赤江地域まちづくり推進委員会
協力：宮崎大学気球部
協賛：株式会社ガスパル
参加者：児童・ご家族など計52組
実施内容：「Than九号2号機」による係留飛行、防災クイズ、建物オーナー様が育てられたお芋を使用した焼き芋配布、障がい者支援施設で作られたお菓子の配布など
備考：同イベントを12月5日（土）恒久小学校、 12月12日（土）赤江小学校にて開催予定です。
※天候により実施内容の変更並びに延期・中止の可能性があります。

Gaspalは、「人の生きる」と共に歩むエネルギー企業へ

【本件に関するお問い合わせ先】 株式会社ガスパル 本社　広報課
〒140-0002　東京都品川区東品川2-2-24 天王洲セントラルタワー11 F
TEL：03-6718-9080（代表）　FAX：03-6718-9131　メール：gpkouhou@kentaku.co.jp